



みんな
きてけるにゃ〜

福よこいこい♪ お客もこい♥ (P2 関連記事)



おおいだ

議会だより

No. **161**

2019.7.25

山形県大石田町ホームページ
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>



携帯・スマホから
アクセス!

◆ 第2回定例会
(6月3日~6日)

◇ 第3回臨時会
(4月19日)

◇ 第4回臨時会
(7月2日)

赤字どうする? (株)地域振興公社 2

教育長! ここが聞きたい 4

追跡!! 小菅田沢線道路改良事業「凍結」 10

町の起業家「ほぐし屋 楽園」 12

あつまりランド 3年連続の赤字！

赤字経営をどう解消する!?



新消防分署、3月末まで完成する？

(株)地域振興公社

齋藤 公一 議員

近 年入浴客の激減で赤字経営になっていくが、営業努力が足りないと思う。現状分析と今後の対応は。

副町長 一番の原因は人口減少と、更に常連さんの高齢化があげられる。対応としては、マスコミなど媒体としてサービス商品の開発と情報発信して誘客増を図っていく。

岡崎 英和 議員

他 の公共施設と比較しても、努力は見える。ただ消極的な営業企画はせず、可能性に向かってチャレンジしてほしい。

副町長 叱咤激励に感謝する。社員・従業員は好調時のイメージがある。リスクやマイナス面もあるが、価値があれば一歩先を見据えて積極的な活動を展開していく。

流雪溝整備

遠藤 宏司 議員

大 石田町は有数の豪雪地なので、流雪雪水導入事業は費用対効果で議論しないで、国県に要望する際は大石田に必要な設備だと訴えてほしい。

町長 今後も国県への要望事業活動の中で、しっかりと町の状況を説明して要望していく。

遠藤 宏司 議員

運 営支援として入湯税を減免したら、経営改善はできるのか。

副町長 現時点で、公社全体の運営を黒字化するのは無理と理解している。当面、これまでの累積赤字を解消して、長期プランの中でサービス向上と売り上げの増を図りたい。

一般会計(全員賛成)

旧福祉会館の解体

岡崎 英和 議員

撤 去後の安全対策はどうか。また土砂が流れる心配はないか。

総務課長 今後はフェンスの設置を予定している。土砂の流出対策はある程度しているが、採石投入



フランス人パティシエの誘客に期待！

町道小菅田沢線

関 幸悦 議員

改 良事業について、費用の面で事業凍結とあるが、地区への説明はあったのか。児童の通学路でもあるので安全対策をどうするのか。

町長 町道整備は、計画的に進める必要がある。維持管理は、その都度対応していく。教育長 子どもの通学は、安全対策をしっかりと講じていく。保護者と学校関係者との協議の中ですすめていきたい。

消防分署

岡崎 英和 議員

完 成はいつ。引き渡しまちづくり推進課長 来年3月末の完成に向けて努力している。

いじめ・不登校

齋藤 公一 議員

町 内に不登校の児童生徒が5名ほどいると聞いた。原因が様々あると思うがどのような対策を行っているのか。

教育長 原因がわかれば対処の方法もあるが、複雑多岐にわたっている。個別対応で成果がある場合や、生徒同士のアドバースで解決した例がある。本人はもとより、学校と家庭の緊密な連携で対応していく。

駅のトイレ

大山 二郎 議員

イ ンバンドで大石田駅が旅行者であふれている。駅のトイレが貧弱だ。将来に向けての改善策は。

町長 以前から指摘を受けている。改修には多額の経費がかかるが、必要性は感じている。

など今後検討していきたい。

学校のエアコン設置

村形 昌一 議員

快 適な学習環境の整備は必要だ。今後電気料等経費の面とメンテナンスをどうするのか。

町長 快適な空間を提供するために、できるかぎりのことをしたい。メンテナンスについても対応していく。

表紙の写真

平成26年8月に露天風呂に設置された「ねこバス」。子ども達に大人気のお風呂になりましたが、年々、お客様が減少しています。町民のみならず、お子さん・お孫さん連れで、家族みんなで「きてけるにゃ〜」

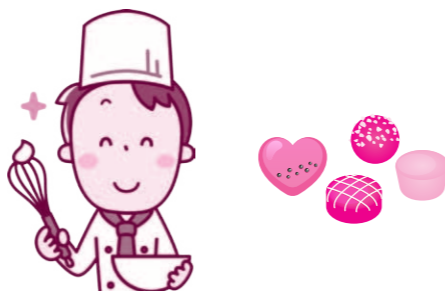


産地形成促進施設の設置条例の廃止(全員賛成)

大山 二郎 議員

母 ちゃん市場が使用している物件をパティシエに貸すというところで、新たな施設を設置するが。

副町長 指定管理者の地域振興公社が運営している物件だったが、産地形成促進施設条例を廃止して一般の方に貸すことになる。新たな母ちゃん市場の建物については約9坪で、現施設の隣に新設する。





庄司町長の3期目は

村形昌一 議員

体調を見定め結論を出す

町長

進退発表の時期は

庄司町政の感想は。
町長 これまで様々な事業で町民福祉の向上に少しでも寄与できたと思っ
ている。8年前に町の活性化を訴えて町政を預かった身としては、当初の
思いが達成されなく、まだまだ道半ばであると思
識する。
3期目への対応は。
町長 検査入院し、体調を見定めたくて結論を出したい。
引退の噂もあったが。
町長 冗談で言ったことはあるが、身を引く発言をしたことはない。

町長選挙と議員選挙が同日選となっているがどう考えているか。

町長 1つの選挙で1千万円近くの経費がかかることを考えると一概に悪いとは言えない。

教育長の教育ビジョン

町教育行政は。
教育長 各年代層を含めた全ての教育活動において「引き出し・伸ばし・灯をつける」という視点を大切にして進める。
学校教育は。
教育長 学力の向上に関しては読解力に焦点を当てて。小中連携と小学校
同学年が一堂に会して学
び、切磋琢磨する機会を



まだまだ精力的(!?)
庄司町長

設定し、縦横の連携を大切に
切にする。また、故郷大石田の良さに目を向けて
価値づける。
生涯学習は。
教育長 スポーツ・芸術・学習等様々な分野において、町民一人ひとりが生きがいとなる楽しさを持つことの実現に向けて努力していく。
壮年ソフト大会の充実が町づくりにつながると考



熱い思いに灯をつける (大中壮行式)

えるが続けていくのか。
教育長 中止は考えていない。灯をつけていければと思う。
残暑が厳しくなるなか運動会は日程の変更を。
教育長 検討していく。
生涯スポーツの要となる中学部活が少子化の影響で存続の危機にあるが。
教育長 他校との合同チームや部の精選等いろいろと考えていく。

※7月18日 町長は3期目の挑戦を議会に明言した。

教育長に質問集中

一般質問

教育議論に白熱

村形 昌一 議員

- ◆本多教育長の教育ビジョンは
- ◆庄司町長3期目への進退は

5ページ



本多教育長の熱い答弁

小玉 勇 議員

- ◆特定空き家問題を解決するために町はどんなことをしているのか
- ◆教育長の教育に対する基本姿勢は

6ページ

遠藤 宏司 議員

- ◆国民健康保険税の負担軽減について
- ◆豪雪地でも暮らせる町を
- ◆子どもの教育環境の改善について

7ページ



「まつりポロシャツ議会」に2尺玉も参加

芳賀 清 議員

- ◆新たな観光振興策は

8ページ

岡崎 英和 議員

- ◆学校教育の現状、社会教育の課題は

9ページ

一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことを言います。
質問内容は議案とは関係なく議員が自由に決めます。議員1人あたりの持ち時間は1時間です。



国に先がけた空き家条例を活かせ

小玉 勇 議員

可能なものから予算化し実施する

町長



管理も難しくなっていく空き家

一条の光を消すな

町の事業として廃屋に飛散防止のネットを設置した。まだまだ小さなことではあるが、手始めとして期待している。踏み切った理由は、

町長 地区住民が自分たちで何とかしようとする熱意に絆された。町のあてはまる事業を探し、環境整備事業に「やる気活動サポート助成金」として10万円を助成した。不足分は地区負担金と寄附により対応するとの報告を得た。

来年度に向けてどんなことを国に申請するのか。

町長 解体を促す助成金を交付している市町村もある。当町も実施する場合に国補助はあるのか確認している。

また行政代執行ではなく、国庫補助金を活用し町が直接解体できる制度があると聞いている。国に指導を仰ぎたい。

小学校統合

子どもの学力向上のために統合すべきではないか。教育長 総合教育会議において、1校への統合を目指す方向に変わりに

国保の負担軽減は

均等割りを廃止している自治体があるようだが。町長 廃止している自治体は確認できない。ただし、減免している自治体はあるようだ。国保基金が1億8千万円あるが、基金を活用して町民の負担を軽くする考えはないか。町長 国保基金条例により、負担軽減のための取り崩しは困難です。国保事業の安定運営には基金が欠かせない。

流雪溝整備

2億円を超えた際は、見直しを検討する。町の最上川流域全域を視野に入れた河川整備計画では、豪雪地の流雪溝整備計画はどうなっているのか。町長 この事業の採択要件には費用対効果がついて回り、現時点ではこの条件をクリアするのは非常に厳しい。採択要件が緩和されれば、流雪溝整備事業も見えてくるのではないか。



より暮らしやすい行政を

遠藤宏司 議員

財政状況も勘案し、従来どおりやっていく

町長



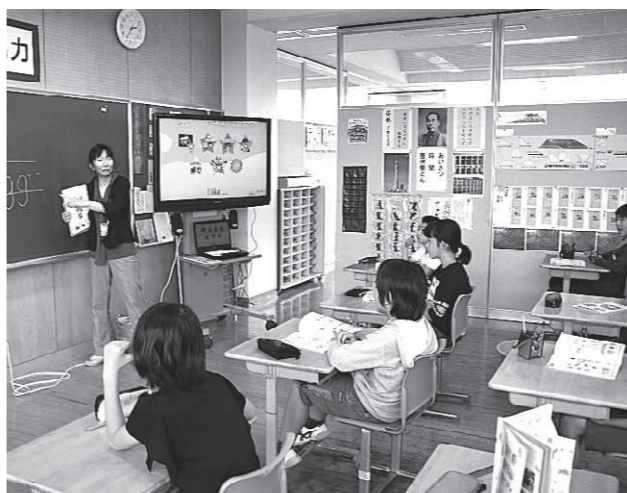
大石田町の冬に流雪溝は欠かせない

が、現状では3校存続という結論になった。複式学級も令和6年に解消する見込み。南小北小どちらも60人程度を保つ状態。地域の活性化とあわせながら再度調整していきたい。また小規模校のデメリットをなくすため各小学校の連携を強化していく。

特化教育

一つの教科を特化する考えはないか。

教育長 義務教育は人間形成の根幹を成すものである。そのためすべての教科を学ぶ必要がある。しかしながら個別的にある教科に秀でることを目指すことも有り得る。国際理解教育専門員の小野エイミー先生に指導を受け、英語で生計を立てている人もいる。児童生徒がいろいろな出会いにめぐり合うことを期待している。



エイミー先生の授業は楽しい(大小)



伝統行事を引き継いで(相撲大会・南小)

子どもの教育環境

入学時の国の就学援助金を、入学式以前に支給できないか。教育長 要綱に基づき6月下旬に支給している。入学式以前に支給することは、他市町村の動向等を調査し検討していく。学校給食費を無料化できないか。

教育長 財政状況も勘案し、町と保護者の負担は従来どおりと考える。現状では時期尚早。医療費の無料化を高校生まで拡大できないか。町長 財政事情から実施できるものは限界がある。老朽化した小学校施設の改修の施策は。教育長 厳しい財政状況下にあるが、劣化状況等を調査し対応を検討する。



交流人口拡大の新戦略は

芳賀 清 議員

新たな視点で対応する

町長

来迎寺在来種を湧谷町へ

友好協定を結ぶ湧谷町とは人的交流を盛んに行ってきたが、ソバの種子確保のため栽培を依頼できないか。町長 ソバ「来迎寺在来種」は町固有の種として栽培されているが、湧谷の風土にあうか、試験的な栽培は可能と思う。ソバは他品種とすぐ交雑するので、遠隔栽培が必要。湧谷で栽培すれば話題性も大きい。町長 品種が固定するまで時間を要するので、湧谷と調整協議しながら進めたい。

新たな観光振興策

湧谷町長がこのたび遠藤新町長に代わったが、友好交流はどうするのか。町長 友好協定は継続し、交流事業活動はさらに発展充実していきたい。そば・だんごなど食による交流人口は伸びているが、あつまりランドは苦戦している。イベントなどで誘客拡大を。副町長 来客数の減少は人口減少の影響がある。イベント開催との連携は有効なので、割引サービス商品の開発など積極的に取り組んでいきたい。

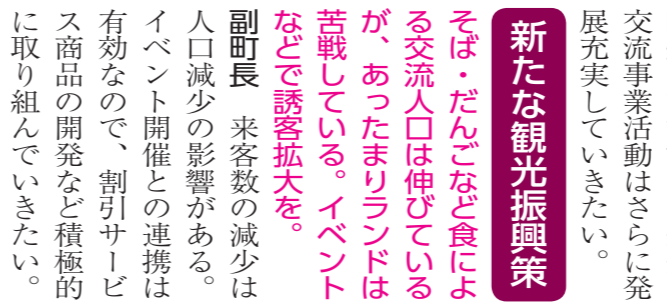
国際交流協会の設置

今、大石田駅は外国からの旅行者で満杯の状況だ。休眠中の日中友好協会を発展的解消して国際交流協会を設置できないか。町長 過去に日中親善交流はあったが、活動は停止している。定住人口が減っている中で重要と思うが、新たな設置には時間を要する。

ブラジル移民の父と言われている鈴木貞次郎翁は町出身者であり、海の向こうでは伝説の偉人である。次代を担う子供たちに国際人として活躍する語学教育は。教育長 英語力の強化は大事で、小学校児童にも教科として取り組むようになる。小中連携の外国語活動プロジェクトや国際理解教育専門員の活用など支援を充実したい。



そばの食べ比べ。一番おいしいのは…(そばの里まつり6・8)



山形県人会はいつも大盛況(ブラジル2018・10)



学校教育をどう考える

岡崎英和 議員

総合的なレベルアップを図りたい

教育長

小中学校教育

大きな事故・問題は無いように見えるが。教育長 概ね落ち着いた学習活動を行っていると思える。コミュニティスクールが軌道に乗ってきたのでは。教育長 保護者や地域の方々に、共に育てる意識が定着してきたと思う。課題をあげれば。教育長 個々に応じた学力の向上が必要と考える。具体的には。教育長 読解力の向上に取り組みたい。

児童生徒の人数が減ってきているが。

教育長 小規模のメリットを最大限に生かした内容に取り組む。課題解消方法は。教育長 全小中学校が、縦横の連携を深めた学習実践を行いたい。特に中学校は町の代表という意識を持ち、地域や小学校に発信させたい。義務教育のプロとして期待するが。教育長 何事にも経験を生かした考えのもとに取り組む。

生涯学習

町民一人1スポーツ、1芸術の浸透は。教育長 引き続き推進を継続していく。社会環境の変化や少子高齢化の影響は。教育長 町民ニーズが多様化高度化しているのも事実だ。各種行事への参加者が減ってきているのでは。教育長 確かにそうだが、意欲の灯は消えていないと考える。



爽やかな汗、ウォーキングは気持ちいい(会員募集中)

虹のプラザの有効活用は

教育長 生涯学習の拠点となるべく、魅力的な企画事業の開催を進める。総合型スポーツクラブの役割も大きいのでは。教育長 スポーツの担い手としてばかりでなく、地域コミュニティの核としても期待する。今定例会で教育長に質問が集中した、期待の表れと思うが。教育長 叱咤激励と捉える。ひとつひとつに全力で取り組みたい。



今年も北村山だけ非公認(中学総体陸上)



議員の決意新たに

真田幸村で町おこし 和歌山県九度山町

真田幸村が人生で一番長く生活した地、九度山町は「真田氏ゆかりの地」として観光資源を掘り起こし、磨き上げてきた。訪問して驚いたのは、バスが到着すると議員全員が玄関で待ち受け、庁舎内に入ると職員は起立し拍手で迎えてくれた。とても感動する体験だった。わが町でも町や役場に来るお客様を歓迎する精神を醸成することが大切と強く感じた。

先進地に学ぶ行政調査(6・25～27)

移住者が町を活性化 和歌山県紀美野町

平成18年から移住定住を政策として開始。平成22年にNPO法人「きみの定住を支援する会」を設立し、平成30年度までに73世帯、142名の移住者が生活している。順調に推移している要因は、SNSで情報を発信し交流人口を増やしていることや、移住定住事業(補助金)が充実している点があげられる。わが町においても、必要な経費は惜しまずかけること。情報、魅力を発信することにより活路が見えると思った。

【記 村岡】



大石田町にも移住者が増えるといいな

より読んでもらえる議会だよりに！ 山形県町村議会広報研修会(5/31)

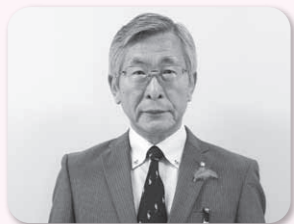


みんなに読んでほしいなよ～

「第36回町村議会広報研修会」が山形市国際交流プラザ「ビッグウイング」で開催され、広報常任委員が参加した。広報コンサルタントの芳野政明氏を講師に迎え「効果ある『議会だより』の編集」の講演に引き続き、実物の各町村議会広報誌について、事細かくクニックを受けた。当町の議会だよりはというと、高い評価を受けたものの「町民の声や意見を絡ませるとより効果的」などの指摘を受けた。町民に、より読んでもらえる紙面作成に意欲を持つ、有意義な研修会となった。

【記 岡崎】

副町長の任命に同意



横山利一氏(桂木町)を大石田町副町長として任命することに賛成多数(賛成6・反対3)で同意しました。任期は令和元年6月11日から4年間です。

第3回 臨時会 4/19

- ・「尾花沢市消防署大石田分署建築用地造成工事請負契約の締結」を全員賛成で可決。
- ・「除雪ドーザ(11t級1台)の取得」を全員賛成で可決。ほか。

第4回 臨時会 7/2

- ・「小中学校用スクールバスの取得(4台)」を全員賛成で可決。
- ・「尾花沢市消防署大石田分署建築工事請負契約の締結」を全員賛成で可決。

事業が消える?!

追跡!

あれはどうなった?



南小学校訪問し現地を確認(7/3)

小菅地区から南小学校までの道路は、生活にかかせない道路として、また通学路として、地区民と児童によって重要な町道だ。地区民の願いがかない、土側溝にU字溝を入れ通学路を整備するため、実施設計の800万円。円の予算が昨年6月議会で議決されたら「議会だより157号」で報じた。小菅地区民への説明もあり、いよいよ道路の整備が進むと思われる。ところが6月14日町当局から、地域代表者に事業は凍結とし、今はできないとの説明がされた。

町道小菅田沢線 道路改良事業の凍結

町建設課から小菅地区役員への説明では、背後地の雨水排水量が多く、当初計画のものより大きな断面の排水溝にしなければならぬことや、電柱の移転など多額の経費がかかること説明された。地区民からは、雨水があふれないようにすることなど、再度、要望が出された。しかし、今年度は道路整備をしないことを説明された小菅地区役員は納得できないとして、11月に開催される地区臨時総会で、再度説明するよう求めた。町長が提案し議決された事業が消えることはしばしばあった。事業の変更は常にあると説明するが、しっかりと計画の下で仕事をすべきではないか。

【記 遠藤】

小菅地区民は 納得せず

太陽光発電事業の開発行為に反対を求める請願

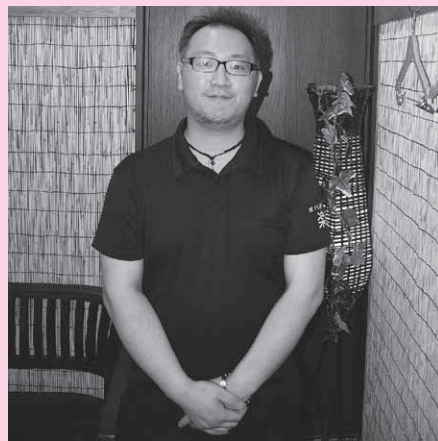
継続 審査

- 請願者 大石田町の水と緑を守る会代表 早坂泰子
- 紹介議員 小玉 勇
- 請願要旨 「大石田町太陽光発電事業」は、多くの自然環境破壊を引き起こし、農産物や大石田そのものの印象まで一変させる危険性があります。事業着手後の撤退などに至った場合、大石田町の財政基盤そのものを揺るがしかねない深刻なダメージになる恐れがあります。これらの理由で「太陽光発電事業計画」に係る開発行為着手に反対するものです。議会には事業会社に対し、慎重かつ厳重な監督をしていただきたくお願いするものです。

町の起業家

Vol.8

仲通地区 菅根 ^{たかふみ} 崇文 さん



尾花沢市北町在住 (32歳)

・家族構成 父・母・兄・犬の5人家族
・趣味 演劇・ハンドメイドアクセサリー

あなたのお仕事は

お客様の疲れた身体を揉みほぐして、コリやハリを癒す仕事です。全て手で行います。

大変だったことは

技術と知識の習得。3年間で全国20店舗を巡り、学びながら、お客様を納得させることが大変でした。

どうして大石田町で

友人の「創作DININGがあでん」オーナーの菅野君から「ここでお客様を取ってみたらどうだ」と勧められたので、やってみました。



ほぐし屋 楽園

住所：大石田町大字大石田甲632-5
携帯アプリ：hogushi-rakuen.com
電話：080-5185-9464 (予約制)
営業時間：10時～22時 定休：水曜日
○全身もみほぐし30分1,500円ほか
○出張施術も好評です

今後の事業展開・抱負

まだ駆け出しですので、一人でも多くの人に存在を知っていただくこと。これからは人材を育成し「疲れた時にはココー」と疲れている人の力になりたいです。

この仕事を通じて感じたことは

体型、職業、既往歴など一つ違っても身体の疲れや出方は変わります。一人ひとりに合わせた施術のやり方を考えることが日々勉強だと感じています。

大石田町のイメージは

「ただいま」と真っ先に言える場所。長年地元を離れていたため、大石田駅を見ると帰ってきたなど実感し、気持ちが落ち着きます。

お客様へ一言

肩こり、腰痛など体の疲れに悩む全ての方に来ていただきたいです。老若男女問わず、力になります。

大石田町議会へ一言

身体が資本。疲れた身体をじっくりほぐして、町を元気にするお手伝いをさせていただきます。

議員よりコメント

自身の指先から大石田町を元気にしたい！と熱い思いを持つ店主。私も彼の熱意と指先に感激したファンの一人です。料金も一般的な相場と比較すれば大幅にリーズナブルな設定。どなた様もお気軽に、まずは身体の不満を相談してみてくださいいかが？

【記 岡崎】

議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は

9月3日(火)～9月13日(金)の予定です。

お気軽においでください。(議場は役場3階です)

お問い合わせ先

大石田町議会事務局
電話 35-2111(内線312) FAX35-2118

編集後記

編集作業もようやく終わりました。一般質問の記事を見ますと新教育長に対する問いが相当あったことに気がついたと思います。人間形成、特に教育は一朝一夕にはできません。子ども時代からの積み重ねが必要です。

国家百年の大計などと言えば時代錯誤にも聞こえますが、国はもちろん町づくりも目先の事象に振りまわされ、迎合主義的に安易な町づくり、議会にならないように耳目を活性化させ、広報を創っていきたいです。

【記 小玉】

広報常任委員会

- 委員長 村形 昌一
- 副委員長 岡崎 英和
- 委員 小玉 勇
- 委員 遠藤 宏司
- 委員 芳賀 清